

氏名(本籍)	池田 茂(東京都)
学位の種類	博士(学術)
学位記番号	甲第252号
学位授与年月日	平成26年3月20日
学位授与の要件	学位規則第4条第1項
研究科・専攻名	工学研究科・基盤工学専攻
学位論文題目	システム開発における外部リソースの活用に関する研究 —開発受託型ベンチャー企業を例として— A study on system development by effective use of external resources — A case of R&D subcontracting venture company —

論文審査	(主査) 高知工科大学 教授 富澤 治	高知工科大学 教授 末包 厚喜
	高知工科大学 教授 平野 真(外)	高知工科大学 教授 那須 清吾
	高知工科大学 講師 生島 淳	

## 審査結果の要旨

### 1.論文の評価

今日、技術の高度化や顧客ニーズの多様化に起因し、多様な製品の短期開発には自社の技術だけで開発を完結することは困難になっている。結果として社外リソースを活用し、開発を加速しようとする、いわゆるオープン・イノベーションのトレンドにそって、社外リソースを活用する事例も多くなっている。しかしながらこれまでの外部リソースの活用に関する研究では活用する側、すなわちアウトソーシングの主体者の視点で論じられることが多い。

本研究は開発受託型企業が顧客企業から社外リソースとして活用される立場としての視点で事例研究を行ったものである。まずシステムの階層構造の中で価値の可視化を行い、外部リソースの活用に関する競争優位性と開発効率化を分析する枠組みを提案、これに基づき、開発受託型企業の事業継続についての以下の要件を提示している。

- ① 価値階層の中で顧客に対する付加価値を高められる領域の把握とその領域に対する事業特化戦略  
(顧客企業の直接的競争優位性の源泉とは異なる間接的な価値提供に寄与する領域の特定)
- ② バリューネットワークにおける供給者の立場から補完的生産者の立場への発展的移動  
(設計開発のリピート受託によるコア・コンピタンスの強化に起因する顧客との関係性の変化)
- ③ 依存度、協調度、保有する付加価値の3軸からなる顧客との関係性における依存度と協調度の適切なバランス保持

開発受託型企業の詳細な事例研究を実施し、受託側と提供側の WinWin 関係構築の要件を提示したものであり、開発受託型中小企業の抱える問題点に対する普遍的な解を示した、極めて有益かつ独自性の高い論文であると判断される。

## 2.審査の経過と結果

- (1) 平成26年1月15日 博士後期課程委員会で学位論文の受理を決定し、5名がその審査委員として指名された。
- (2) 平成26年2月13日 公開論文審査発表会及び最終試験を実施した。
- (3) 平成26年2月19日 博士後期課程委員会で学位授与を可とし、教育研究審議会で承認された。